



神郷 公民館だより



神郷公民館

46-1181

koukou@city.niihama.ehime.jp

神郷校区の人口

人口	9,778人
(男)	4,732人
(女)	5,046人
世帯数	4,587世帯
令和3年9月末現在	

謹賀新年

神郷校区の皆様、新年明けましておめでとうございます。平素は、公民館運営に関してご支援、ご協力を戴きましてありがとうございます。昨年もコロナウイルスの感染防止のため、さまざまな事業が中止され寂しい状況になってしまいました。幸い「校区防災訓練」と「縮小したイベント」や「サークル活動」は実施でき嬉しく思っております。各種団体、地域住民の皆様方のご協力、ご支援に対しまして、感謝申し上げます。

今年も「コロナ」と付き合いながらの運営になるうかと思えます。地域住民の健康と安全を考えながら、公民館の目標である

「家庭・学校・地域の連携強化を図り、コミュニティスクールとの協働活動推進と安全・安心で住みよい地域づくりを目指す」

に取り組み、地域の発展を目指したいと思っております。又、地域の宝である子どもたちのために「地域学校協働本部事業」や、放課後や週末に安全・安心な子ども居場所づくりを行う「放課後子ども教室推進事業」等、小・中学校との連携強化に取り組んでいきたいと考えております。本年も公民館の一層の躍進に職員一同全力で取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

令和四年元旦 神郷公民館 館長 藤井 和晴

迎春



校区の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素から校区の各種行事並びに諸活動に対しまして、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。本年も一層のお力添えのほどよろしくお願いいたします。

令和四年元旦 神郷校区連合自治会 会長 藤原 説夫

令和3年度 人権標語



《一年生》

やさしさを きょうよりあした かがやくよ
一組 浮川 夢彩(ゆさ)
二組 山本 潤永(じゅんえい)
三組 山本 美希(みれあ)

《二年生》

ひろげよう！ 一人一人の あったかハート
一組 横山 眞秀(ましゅう)
二組 泉川 蘭(らん)

《三年生》

一人一人の 思いやりが 明日をかえる
一組 萩尾 詩(うた)
二組 古本 紫龍(しりゅう)
三組 田中 凌(せい)

《四年生》

やさしい心 私をもって 君にパス
一組 網元 虹花(にじか)
二組 山本 結心(ゆな)
三組 松本 充(あたる)

《五年生》

流されず 自分の気持ちを 言ってみよう
一組 萩尾 優空(ゆうあ)
二組 筒井 瑛大(えいた)
三組 伊藤 仁(に)

《六年生》

『あの子はダメで あの子はOK』そいつの世界が 私はきらい
大丈夫？ 勇気を出して 言ってみよう
一組 曾我部 芽依(ちい)
二組 伊藤 翔馬(しょうま)
三組 加藤 萌愛(もな)

神郷俳句教室



頬を打つ風の冷たき島四国 加藤 ミドリ
山頂は冷たい雨に霧氷へと 加地 清子
冬ざるる時計止まりし廃駅舎 永易 千鶴子
高塔のビルのアンテナ鳥渡る 三好 寿恵子
ぶらんこや足ふんばりて男の子 村上 生子
霜月の半月の空夜を包む 安藤 由子
冬日背に語らひつきぬ老夫婦 市川 由紀子
松榎樟が絡むや苑小春 内田 八重子
開拓村たりしなごりの枯葎 阪上 史琅

1月18日・19日神郷公民館で

マイナンバーカードをつくりませんか

場所 神郷公民館 図書室

受付時間 14:00～15:30

対象者 新居浜市に住民票がありマイナン

バーカードを初めて申請される方

写真撮影無料 手続所要時間10～15分

出来上がったカードはご自宅に郵送します

お問合せ先 新居浜市役所市民課

0897 65 1232

※カード申請に必要なもの等、自治会回覧をよくお読み下さい。

探訪シリーズ

明治32年に別子銅山を、集落を襲った山津波・土石流・壊滅的被害 神戸新聞記者が鉄道・船を乗り継いでこの地へ取材に来た記録



略図

木津川丸
137トン



東日本大震災が発生して10年が経過。わが国では、近年各地で地震や豪雨、噴火といった災害が起き、その度に大きな被害が繰り返された。「災害大国」？に暮らす以上、これからも自然の猛威に向きあっていくほかはないのである。

今から122年前、明治32年、別子銅山と集落に歴史に残る大災害がありました。別子銅山の中心は嶺南の山中にあり、別子銅山就業者2300人を数え、その家族を加えると、当時別子山中の人口は、愛媛県内では県都松山に次ぎ1万2400人であった。銅山は採鉱で活みなぎり、行商人も頻繁に来て人々の生活は賑わいにあふれていた。

この銅山を集落を山津波と土石流が襲いかかりました。明治32年（1899）8月28日、土佐湾に上陸した台風は石鎚山脈をこえて東予地区を襲い、昼頃から降り出した雨は、しだいに豪雨となり、午後6時過ぎから暴風雨となった。7時半頃からその勢いは一層猛烈をきわめ、8時半頃には最高潮に達し、全山山津波の状態となり、谷々の従業員住宅をはじめ、製錬所・収銅所・倉庫などが、一大音響とともに谷間に崩壊流失した。これはあつという間のできごとで、山津波にのみまれ、地すべりに乗って人々は濁流渦巻く川の激流に押し流されていったのである。家屋倒壊122戸、大破37戸、死者513人負傷者26人をだして暴風雨は午後10時頃やっとおさまった。

この事件を、当時神戸新聞の江見忠浩記者が鉄道を船を乗り継いで、この地に取材に来て、現地から報告した記録が残っています。調査整理してみたい。

仮説ですが、この事件が2021年・令和3年の現在であれば、現場の様子をいち早く伝える報道手段として、神戸からヘリコプターを飛ばして取材する。また、資機材を積み込んだ専用車両にて瀬戸大橋を渡って来る。あるいは、超緊急による人的な派遣なら松山空港を経由しての取材。などハード面では、高度交通体系による取材が考えられる。また、ソフト面から言えば、電話・ファックスからはるかに進んだパソコン通信など高度情報通信システム等の活用による取材が可能なのではないだろうか。しかしいかなせん明治32年122年前のことである。

大災害から3日後の31日の午後、別子銅山の惨状が神戸新聞に達するや、江見忠浩記者は、その実状を取材するために、単身にて国鉄山陽本線、連絡船木津川丸を乗り継いで、この地へきたのである。その取材の足跡を調査整理してみます。（つづく）

校区防災訓練報告

12月5日（日）校区防災訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染防止のため各自治会から3名程度、校区防災士さん、わくわく公園トイレを管理して下さっている白井歌声グループさんの限られた人数で実施しました。

今回は、神郷わくわく公園が災害時の一時避難場所を想定して作られていることから、広く地域の皆さんに公園の防災機能を知っていただくことを目的に行いました。

わくわく公園の防災機能

- ①東屋
周りにテントを張ることによって応急治療等のスペースとして利用できる防災東屋になる
- ②ベンチ
収納スペースのある防災ベンチ及びかまどベンチ
- ③水飲み場
災害時は炊事台として利用できる
- ④地下水をくみ上げる手押しポンプ
- ⑤防災倉庫
- ⑥男性用、女性用及び多目的トイレ
常時は水洗となっていますが地震で水道が破損した場合には利用できるよう地下に便槽をもうけた構造
- ⑦照明設備
トイレ付近及びグラウンド入口にソーラー照明を設置し夜間の停電時にもグラウンドへの避難やトイレの利用が可能



東屋テント体験



かまどベンチ体験



発電機によるライト点灯



手押しポンプ体験

今回の訓練で神郷わくわく公園に防災機能があることを理解し体験できました。できることなら公園を一時避難場所に利用するような災害が訪れないことを願います。

1月（睦月）の行事予定

1～3日	年始休み	
4日（火）	御用始め	
7日（金）	13：30～	見守り推進委員役員会 神郷公民館
	19：00～	老人会長会 "
11日（火）		小・中学校3学期始業式
	11：00～	七草がゆ 神郷公民館
	18：00～	公民館運審会 "
12日（水）	19：00～	環境美化部定例会 "
17日（月）	19：00～	民児協定例会 "
18日（火）	14：00～	マイナンバーカード出張申請 "
19日（水）	14：00～	マイナンバーカード出張申請 "
20日（木）	13：30～	社協事務局会 "
21日（金）	13：30～	DVD鑑賞会 "
24日（月）	19：30～	連合自治会長会 "
28日（金）	13：30～	新春マジックショー "
	19：30～	補導定例会 "

